

項 目			H28目標	自 己 評 価		評 価 委 員 会		
大	中	小		H28実績	達成度	達成度	評価の視点と指導, 助言等	
2	事業規模・ 形態の見直し	1 運営形態	全部適用を当面維持		全部適用の運営形態を維持	○	○	
		2 事業規模	① 一般病床175床 ② 緩和ケア病床24床		7対1看護体制を維持	○	○	
3	経営改善に 係る計画	1 財務に係る 数値目標	(ア) 経常収支比率	91.5%	94.6%(前年度 93.0%)	○	○	
			(イ) 職員給与費比率	65.2%	63.0%(前年度 62.7%)	○	○	
			(ウ) 病床稼働率(一般)	86.2%	89.5%(前年度 87.3%)	○	○	
			病床稼働率(緩和)	80.0%	68.6%(前年度 58.9%)	△	△	
			(エ) 診療単価(入院・一般)	44,363 円	44,566円(前年度 44,216円)	○	○	
			診療単価(入院・緩和)	50,000 円	52,183円(前年度 54,557円)	○	○	
			診療単価(外来)	12,100 円	12,426円(前年度 12,219円)	○	○	
4	収入増加・ 確保対策	1 診療機能	ア 救急医療の拡充					
			①内科二次救急の継続		24時間365日体制で継続実施	○	○	
			②消化管出血等に対応 できる消化器内視鏡救 急外来の拡充		平日昼間及び毎週火曜日の夜間に継続実施	×	×	
			③外科(外科・整形外 科)救急外来の拡充		平日昼間及び毎週火曜日(月1回木曜日)の夜間 に継続実施 外科救急に関しては急性腹症等に速やかに対 応できるよう, 外科医師が直接対応するホットラ イン体制を構築	○	○	
			④小児科二次救急の継 続		阪神南二次輪番病院として平日昼間及び毎週 土曜日17時から日曜日の17時までの救急体制 を継続実施	○	○	
			⑤総合診療医の育成		総合診療専門医の研修施設として、定められて いる要件を満たさないため未実施	×	×	

項 目			H28目標	自 己 評 価		評 価 委 員 会			
大	中	小		H28実績	達成度	達成度	評価の視点と指導, 助言等		
4	収入増加・ 確保対策	1	診療機能	イ がん対策の強化					
				①がん検診・人間ドック の充実	人間ドック受診者数 1,200件	各種がん検診受診者数5,484人(前年比92人増加) 人間ドック受診者数1,113人(前年比62人増加)	△	△	
				②がん予防診療		ピロリ菌外来, 乳腺外来の継続実施	○	○	
				③低侵襲手術の拡充		がんに対する腹腔鏡下手術、内視鏡手術の対象症例は減少(H28年度実績34例/前年比4例減少)	×	×	
				④外来・入院化学療法	無菌室加算 240件	外来がん治療認定薬剤師の資格を取得 白血病等の患者増による無菌治療室管理加算の算定件数増加(H28年度実績673件/前年比439件増加)	○	◎	加算件数が大きく伸びており, 達成度を計画以上(◎)と評価する 化学療法患者への栄養指導の充実, その他多方面への効果を期待し, 管理栄養士1名の増員を助言する
				⑤がん緩和ケア		緩和ケア認定看護師の資格を取得 9月より緩和ケア医師1名確保, 常勤2名体制へ	○	○	
				⑥がんに関する知識の 啓発		公開講座「これからのがん治療」(4月9日)開催 69名参加 がんフォーラム開催(9月17日) 400名参加	○	○	
				⑦院内がん登録の継続 実施		全国がん登録に伴う項目変更への対応	○	○	
				ウ 生活習慣病対策の拡充					
				①糖尿病対策		特定健診の受診者数増加(H28年度実績468件/ 前年比65件増加) 保健センターにて特定保健指導を行った患者の紹介用パスを作成し, 糖尿病, その他生活習慣病の早期治療へつながるよう取組を実施 その他糖尿病療養指導士の育成や糖尿病教室の開催を継続実施	○	○	
②糖尿病合併症の早期 発見・診断・治療	糖尿病内科新入院 640人	教育入院や症状コントロール目的の患者の受入れ強化(新入院患者数H28年度実績773件/前年比222件増加) 糖尿病患者で眼科疾患の疑われる患者を積極的に院内紹介, もしくはかかりつけ医へ受診するよう促した	◎	◎					

項 目			H28目標	自 己 評 価		評 価 委 員 会			
大	中	小		H28実績	達成度	達成度	評価の視点と指導, 助言等		
4	収入増加・ 確保対策	1	診療機能	③循環器疾患の診断・ 治療	慢性心不全看護認定看護師の資格を取得 心不全軽症患者は早期自宅復帰できるよう心不 全パスを稼働	○	○		
				④脂質異常症の診断・ 治療	人間ドック, 栄養指導等において体組成分析装 置InBodyを活用し, 脂質異常等の早期診断を実 施	○	○		
				エ 循環器疾患への対応					
				①循環器疾患の診断・ 治療	慢性心不全看護認定看護師の資格を取得 心不全軽症患者は早期自宅復帰できるよう心不 全パスを稼働	○	○		
				②心臓カテーテル検査と 経皮的冠動脈形成術	血管造影検査装置および人員体制の課題があ り未実施	×	×		
				③下肢動脈末梢血管造 影と下肢動脈形成術	血管造影検査装置および人員体制の課題があ り未実施	×	×		
				④徐脈性不整脈に対す る検査・治療	症状に応じてペースメーカを植え込み, その後 半年毎に定期検査によるフォローを継続実施	○	○		
				オ 呼吸器疾患への対応					
				①睡眠時無呼吸症候群 (SAS)の診断・治療	簡易PSG:40件 一泊PSG:18件	47件(簡易PSG 36件, 一泊PSG 11件)	△	△	
				②慢性閉塞性肺疾患 (COPD)の診断・治療		11月より禁煙外来を開始(H28年度延患者数34 人)	○	○	
				③誤嚥性肺炎の予防		嚥下機能の低下が見られる患者に対して, 他職 種連携し誤嚥のリスク低下に向け取組を実施	○	○	
				④新型インフルエンザ対 策		院内感染防止に向け, 例年通り環境衛生整備 や手指衛生の徹底について啓蒙を実施	○	○	
				カ 骨・運動器疾患への対応 拡充					
				①骨粗鬆症の予防・診 断・治療		腰背部痛救急車マニュアルを作成し, 骨粗鬆症 外来受診者に配布 骨粗鬆症患者の継続的な投薬治療のため, 近 医への逆紹介を推進	○	○	
②関節疾患の診断・治 療		10月より人工関節センター開設 膝関連の手術件数増加(H28年度実績46件/前 年比25件の増加)	◎	◎					

項 目			H28目標	自 己 評 価		評 価 委 員 会				
大	中	小		H28実績	達成度	達成度	評価の視点と指導, 助言等			
4	収入増加・ 確保対策	1	診療機能	③外傷・骨折の診断・治療	10月より整形外科医師1名増加により, 手術対象症例が拡大	○	○	在宅復帰支援, 平均在院日数, ADLの向上等の観点からリハビリをさらに強化する必要がある 理学療法士等, 技師の充実に努めていただきたい		
				④運動器リハビリテーションの拡充	11,024件	PT1名の育休に伴い実施単位数減少(H28年度実績10,984件/前年比3,138件減少) 能動型自動間欠牽引装置を導入し, 座位による腰椎牽引治療が可能となり適用範囲の拡充を図る	△		△	
				⑤循環器・呼吸器・嚥下障害・脳血管リハビリテーション		PT1名の育休に伴い, 各種リハビリテーションの総実施単位数減少(H28年度実績13,470件/前年比852件減少) STと管理栄養士による摂食機能療法に対するリハビリテーション増加(H28年度実績4,504件/前年比1,021件増加)	△		△	
				キ 産婦人科医療の拡充						
				①周産期医療の構築		産褥入院, 周産期ネットワークの継続実施(H28年度利用実績は5件/前年比1件増加)	○		○	
				②婦人科腫瘍の診断・治療		腹腔鏡下手術件数の増加(H28年度実績150件/前年比27件増加)	◎	◎		
				③泌尿婦人科疾患の診断・治療		骨盤臓器脱患者数の増加(H28年度実績125人/前年比30人増加)	◎	◎		
				④更年期婦人疾患の診断・治療		通常診療にて対応するが, 症状に応じて専門クリニックの紹介 乳がん検診の受診を推進	○	○		
				ク 小児科医療の充実						
				①地域小児科医療の支援		阪神南二次輪番病院として平日昼間及び毎週土曜日17時から日曜日の17時までの救急体制を継続実施 西宮等市外のクリニックからの紹介が増加	○	○		
				②予防接種の推進	480件	予防接種者数の減少(H28年度実績387件/前年比43件減少)	△	△		
				③特色ある診療の実施	240件	言語聴覚士との連携により学習支援外来増加(H28年度実績448件/前年比36件増加)	◎	◎		
				ケ 眼科医療の充実						

項 目			H28目標	自 己 評 価		評 価 委 員 会			
大	中	小		H28実績	達成度	達成度	評価の視点と指導, 助言等		
4	収入増加・ 確保対策	1	①眼科疾患の診断・治療	225件	2診体制にて、主に白内障、黄斑変性症等の症例を中心に診療を実施	○	○		
					②眼科疾患の入院手術の推進	白内障等手術件数の減少(H28年度実績222件/前年比2件減少)	△	△	
			コ	皮膚科・形成外科の拡充					
				①診断・治療目的の手術の推進	皮膚科・形成外科外来患者数の増加(H28年度実績2,750人/前年比19人増加) 皮膚科・形成外科手術件数の増加(H28年度実績73件/前年比8件増加)	○	○		
			サ	初期臨床研修医・後期研修医の確保					
				①初期臨床研修プログラムの充実	初期臨床研修医4名受入(前年比1名増加)	○	○		
				②大学との襷掛け研修の実施	兵庫医科大学病院より6名の研修医を受入(前年比4名増加)	○	○		
				③後期研修プログラムの充実	後期臨床研修医2名受入(前年比1名増加)	○	○		
		2	ネットワーク 医療について	県立西宮病院、市立西宮中央病院との連携強化	年に1回、3病院連携会議を開催し、情報共有を実施 県立西宮病院とは周産期ネットワークを継続実施	○	○		
				むこねっとシステムの利用による阪神7市医師会との連携強化	むこねっとシステムによる逆紹介を推進し、昨年度より22件の利用増加	○	○		
6	経費削減・ 抑制対策	1	職員給与費の適正化	① 医師職年俸制の導入 ② 業績評価制度の継続	①医師職を対象とした個人評価の実施 ②継続実施	○	○		
		2	業務委託、 人材派遣、 非正規雇用	① 指揮命令システムの整備 ② パートナーシップの醸成 ③ 社会経済情勢への配慮	人材派遣を利用し、人材の確保に努めている	○	○	業務委託契約に関しては、複数年度契約なども検討し、コストダウンと質の向上に努めていただきたい	
		3	診療材料及び薬品における物流一元化	① 物流一元化 ② ジェネリック医薬品への切り替え ③ 持参薬の活用	①継続実施 ②後発医薬品の採用品目数 H28年度211品目(前年比58件の増加) ③適切な運用を実施	○	○	引き続き、後発医薬品の使用率向上に努めていただきたい	

項 目				H28目標	自 己 評 価		評 価 委 員 会	
大	中		小		H28実績	達成度	達成度	評価の視点と指導, 助言等
6	経費削減・抑制対策	4	効率的な業務プロセス	① DPC分析ツールの活用によるベンチマーク ② ドクタークラークの活用	①医局会や各科カンファレンス等で分析資料を活用 ②継続実施	○	○	
7	PDCAサイクルの構築		評価委員会の指導, 勧告に基づき進める		毎日行われる幹部会での意思決定の迅速化と毎週実施される企画会議で全体周知を行い, 組織的な進行管理を実施	○	○	
8	その他		病院機能評価受審		平成27年3月に受審(平成27年6月に3rdG: Ver1.0認定更新)	—	—	